

各カッティングマシンの設定について

A-1 ■GRAPHTEC 社製 シルエットカメオ初代/2/3 及び同社製プロ用中型機 CE シリーズの場合(旧機種種のクラフトロボシリーズを含む)

(シルエットカメオ 4、4PLUS、4Pro については設定が異なりますので A-2 をご参照下さい。)

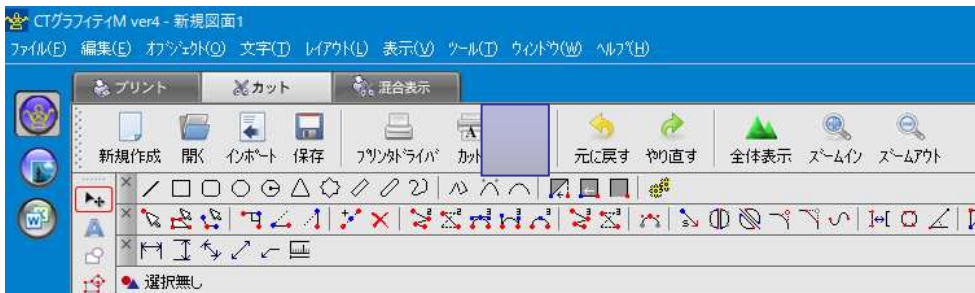
【重要】 クラフトロボシリーズについては、下記設定を行う前にあらかじめドライバソフトウェアをインストールの上、セットアップを完了しておいて下さい。また、本ソフトウェアの仕様上、クラフトロボについては一部制限が御座います。詳しくは本項最後の「クラフトロボシリーズにおける注意事項」を御覧ください。

クラフトロボシリーズは Windows10 以降でご使用の場合、最終版の各種ソフトウェアが必要です。

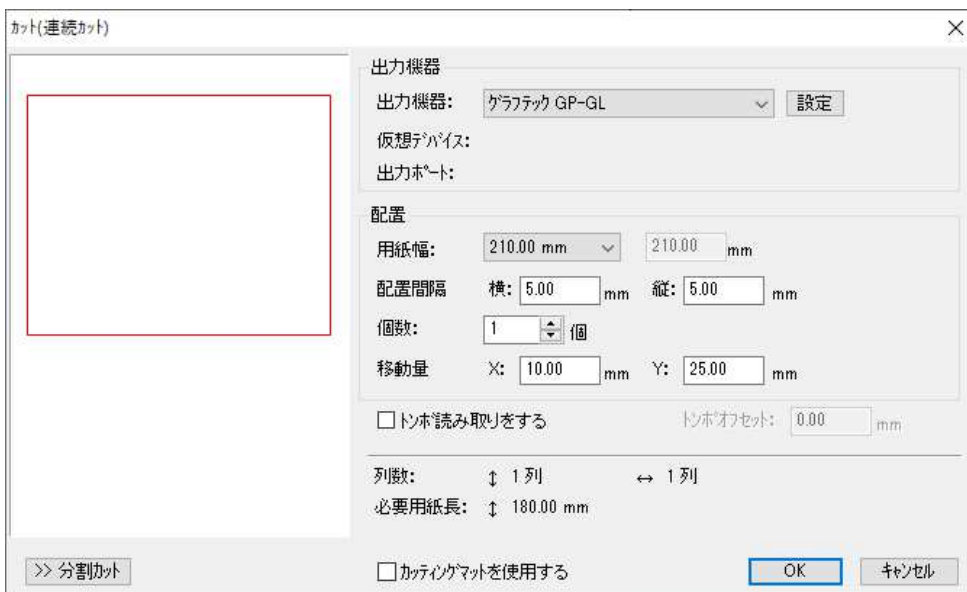
(クラフトロボ関連ソフトウェアダウンロード URL: https://www.graphtec.co.jp/site_download/craftrobo.html)

【重要】 シルエットカメオ初代/シルエットカメオ2/シルエットカメオ3をご使用の場合は、下記設定を行う前に、シルエットカメオ公式 Web サイトよりドライバソフトウェアをダウンロードの上、インストール及びセットアップを完了しておいて下さい。(シルエットカメオ公式 Web サイト URL: <https://silhouettejapan.jp/>)

1. カットモードで「カットボタン」をクリックします。



2. 下記ダイアログボックスが表示されます。出力機器を「グラフテック GP-GL」に設定し、右横の「設定」ボタンをクリックして下さい。



3. 下記ダイアログボックスが表示されます。クラフトロボ及びシルエットカメオの場合は、ステップ数を「20」に設定して下さい。ステップ数の設定後、画面右横の「ポート設定」をクリックして下さい。尚、CE シリーズ中型機の場合は、「40」、曲線を「はやい」に設定し、プロッタ本体のステップサイズを「0.025mm/step」に設定し直して下さい。



他の設定値は、通常は初期値のままです。

4. 下記ダイアログボックスが表示されます。クラフトロボ及びシルエットカメオの場合は、「仮想デバイスを使用する」にチェックを入れ、右下の「設定」をクリックして下さい。(CE シリーズ中型機も同様)



5. 下記ダイアログボックスが表示されます。デバイスリストからご使用のカットマシンを選択した上で、「OK」をクリックし、一つ前の画面に戻りますので、それぞれ「OK」をクリックして設定を完了して下さい。



【シルエットカメオ初代／2／3 における注意事項】

■本ソフトウェアでシルエットカメオ初代／2／3を使用する場合は、予めドライバソフトウェアをインストールの上、Windows上でプリンタとして認識させて下さい。プリンタとして認識していない場合は本ソフトウェアでのカットが実行出来ません。

下記 URL のシルエットカメオ公式 Web サイトの「サポート」より該当するドライバソフトウェアを入手して下さい。

シルエットカメオ公式 Web サイト <https://silhouettejapan.jp/>

■カット速度・カット圧等の各種カット設定についてはシルエットカメオ本体の操作パネルで行って下さい。操作パネルで設定する場合は下記の通りとなります。

・シルエットカメオ初代

本体横の SD カードスロットに SD カード(16GB までの SDHC 規格対応 SD カード)を挿入する事でカット設定が本体ボタン(本体液晶画面)で行えるようになります。

詳しくは、http://stika.jp/pdf/ctg_sil_manual.pdf の「カット条件設定方法」を御覧ください。

・シルエットカメオ 2

本体横の USB メモリ用 USB ポートに USB メモリ(16GB まで)を挿入する事でカット設定が本体液晶タッチパネルで行えるようになります。

詳しくは、http://stika.jp/pdf/ctg_sil2_manual.pdf の「カット条件設定方法」を御覧ください。

・シルエットカメオ 3

本体横の USB メモリ用 USB ポートに USB メモリ(64GB まで)を挿入する事でカット設定が本体液晶タッチパネルで行えるようになります。詳しくは下記手順にて設定して下さい。

1. カットしたい素材をシルエットカメオ 3 にセット後、本体タッチパネルの画面右下「USB」をタップします。
2. データ選択画面が表示されますので、「設定変更 1」をタップします。
3. 各種設定内容が表示されますので、下記の設定を行います。
 - メディア:メディアの種類を選択します。
 - メディアの種類に合わせた設定に変更されます。
 - 任意の設定を選択する場合は、「カスタム設定」を選択します。
 - 標準カッター／自動カッター／スケッチペンを選択します。(通常は自動カッター)
 - 厚み／速度／刃出し量は、< > ボタンで変更できます。
4. 戻るボタン「←」2 回タップして最初の画面まで戻ってからデータを送信して下さい。

【クラフトロボシリーズにおける注意事項】 ※クラフトロボ Pro は CE シリーズと同じ扱いの為、非該当です。

本ソフトウェア(CTグラフィティVer.4)では、クラフトロボコントローラーの呼び出し起動に非対応の為、カット動作に制限があります。従ってカットできる素材の種類が限定されます。制限は次の通りです。

■制限される動作:カット圧の変更 (但し、カット速度・品質については「プロッタ設定」で変更可能)

■制限される素材:厚さ 0.1mm 以下の極薄用紙、厚さ 0.2mm 以上のカッティングシート、厚紙など

A-2 ■GRAPHTEC 社製 シルエットカメオ 4(カメオ 4、カメオ 4PLUS、カメオ 4Pro) 及びシルエットポートレートシリーズの場合

(シルエットカメオ 4 及びシルエットポートレートシリーズの場合、CT グラフィティ M Ver.4 でカッター刃(ブレード)に使用できないものが一部御座います。)

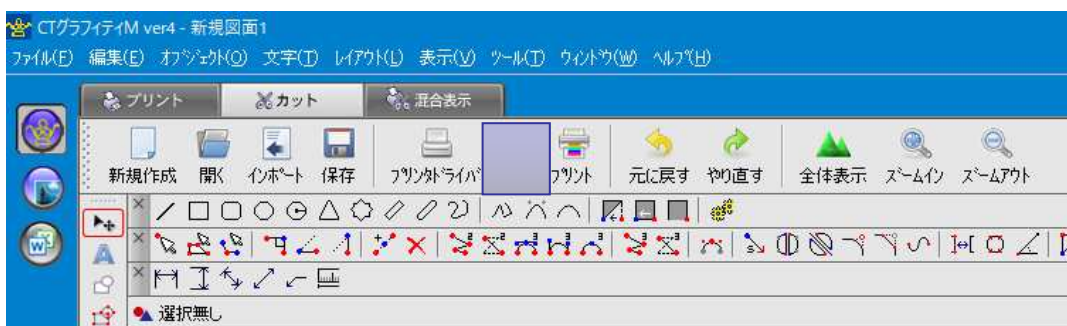
【重要】シルエットカメオ 4 シリーズ(4, 4PLUS, 4Pro) 及びシルエットポートレートシリーズで本ソフトウェアを使用する場合、カット制御の都合上、下記のカッター刃(ブレード)が使用出来ません。また、それに伴いカットできる素材も制限されますのでご注意ください。(ツールホルダー 2 にセットするものは全て使用不可です。ご注意ください。)

【使用できないブレード】 ・クラフトブレード ・パンチングツール ・ロータリーブレード

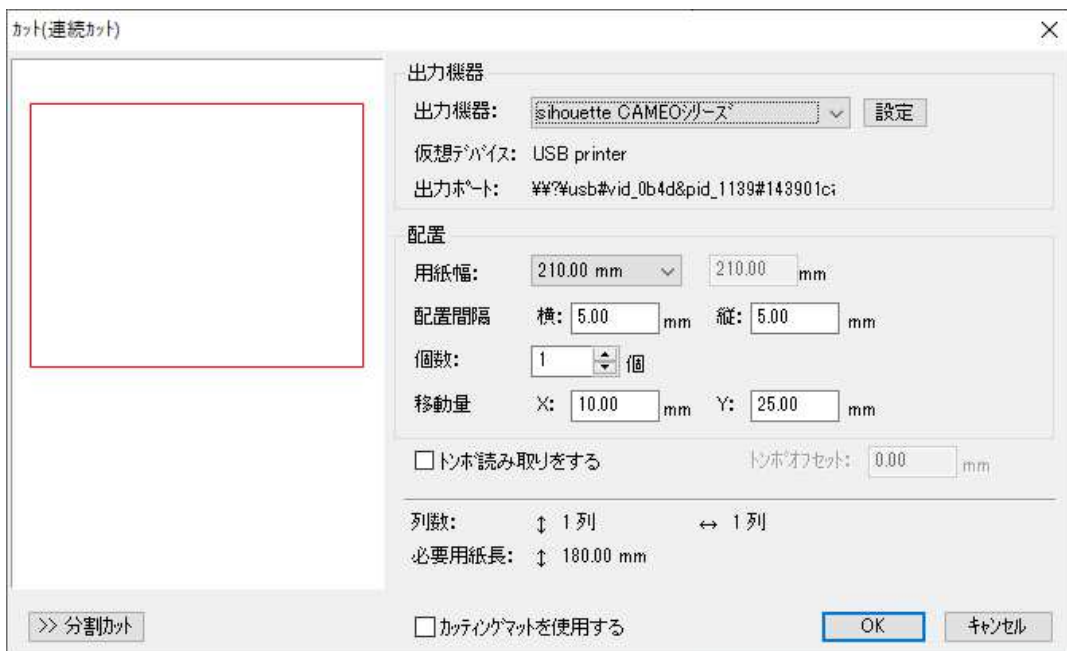
【カット出来ない素材】 ・厚さ 0.5mm を超える厚紙 ・厚さ 0.5mm を超えるシート類 ・プラスチック板 ・皮革など

※標準刃のオートブレードやマニュアルブレード(1mm/2mm)での使用を推奨します。

1. 予め、シルエットカメオ 4 又はシルエットポートレートを USB で接続した上で、電源を ON にしておき、カットモードで「カットボタン」をクリックします。



2. 下記ダイアログボックスが表示されます。出力機器を「Silhouette CAMEO シリーズ」に設定し、右横の「設定」ボタンをクリックして下さい。(シルエットポートレートシリーズも共通)



3. 下記ダイアログボックスが表示されます。シルエットカメオ 4 シリーズ及びシルエットポートレートの場合は、ステップ数を「20」に設定して下さい。ステップ数の設定後、画面右横の「ポート設定」をクリックして下さい。



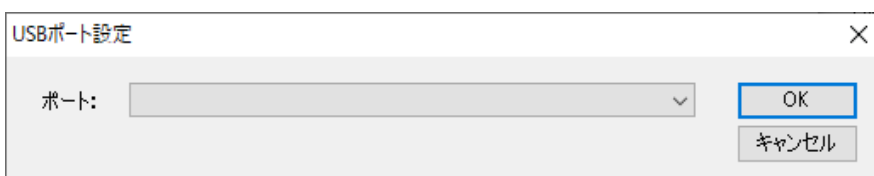
他の設定値は、通常は初期値のままで構いません。

4. 下記ダイアログボックスが表示されます。シルエットカメオ 4 及びシルエットポートレートの場合は、「USB (双方向通信) を使用する」にチェックを入れ、右下の「設定」をクリックして下さい。



5. 下記ダイアログボックスが表示されます。シルエット 4 又はシルエットポートレートが USB で接続されている場合、ポートに表示されている文字列 (環境によって異なります) を選択した上で「OK」をクリックし、一つ前の画面に戻りますので、それぞれ「OK」をクリックして設定を完了して下さい。

【注意事項】ポートのリストに表示される文字列は、お使いの環境毎に異なります。また、シルエットカメオ 4 又はシルエットポートレート以外のプリンタが USB で接続されている場合、プリンタの USB 識別文字列がこのリストに表示される場合がございます。設定の際は他のプリンタの電源を OFF にした上で設定を行って下さい。

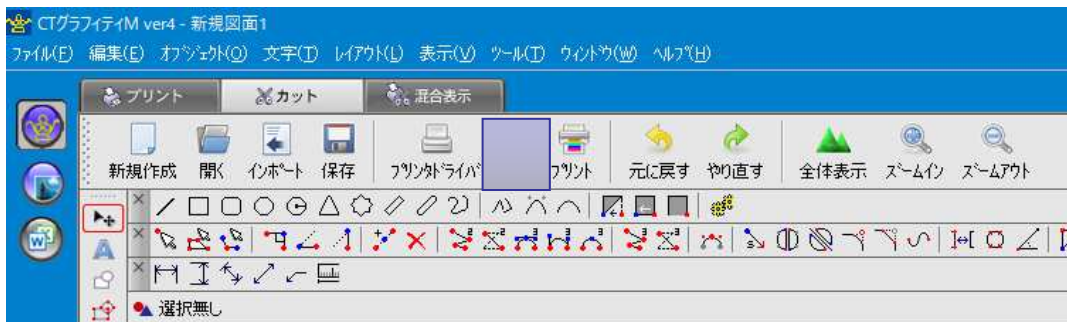


A-2 補足 ■シルエットカメオ 4 及びシルエットポートレートシリーズでのカット条件設定について

シルエットカメオ 4 及びシルエットポートレートシリーズでのカット条件設定は、本ソフトウェアの設定画面にて行います。下記手順を参照の上、カット条件を設定して下さい。

【注意事項】シルエットカメオ 4 及びシルエットポートレート本体付属ソフトウェア「Silhouette Studio」と比較して、設定値が同じでも切り込み量が Silhouette Studio よりやや深くなる場合がありますので、カット圧について少し低めの設定値を推奨します。(例:一般的な塩ビ製のカッティングシートの場合は、刃出し量 1、カット圧 5~6 程度)

1. 予め、シルエットカメオ 4 又はシルエットポートレートを USB で接続した上で、電源を ON にしておき、カットモードで「カットボタン」をクリックします。



2. 下記ダイアログボックスが表示されます。出力機器を「Silhouette CAMEOシリーズ」に設定し、右横の「設定」ボタンをクリックして下さい。(シルエットポートレートシリーズも共通)



【重要】

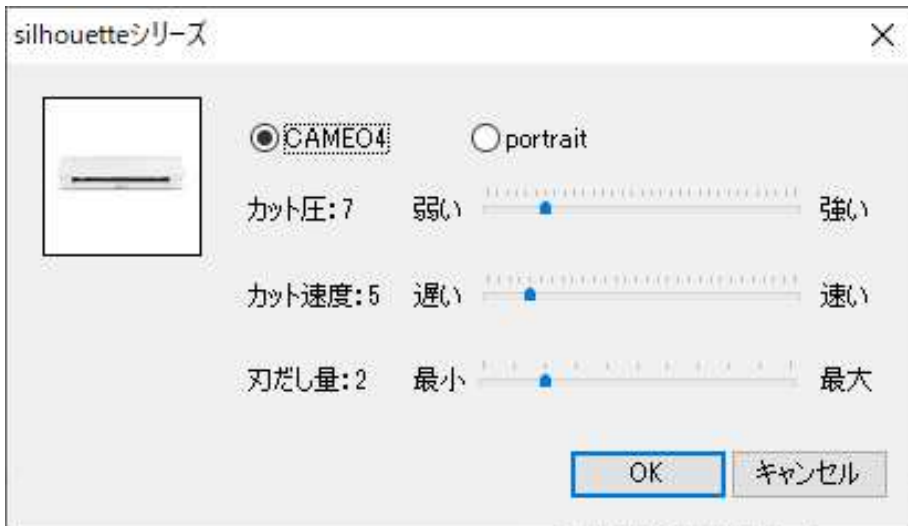
カット時にカッティング台紙(カッティングマット)を使用しない場合(例:カッティングシートをそのままセットする)は、「カッティングマットを使用する」のチェックを必ず外して下さい。チェックが入っていると、カッティングマット使用時のカット圧補正が入り、切りすぎてしまいますので特にご注意下さい。(逆の場合も注意して下さい。)

3. 下記ダイアログボックスが表示されます。カット条件を変更したい場合は「パネル設定」をクリックして下さい。



他の設定値は、通常は初期値のままで構いません。

4. 下記ダイアログボックスが表示されます。シルエットカメオ 4 シリーズの場合は「CAMEO4」、ポートレートシリーズの場合は「portlait」にチェックを入れ、各スライダーを操作してカット条件を設定して下さい。



- カット圧: カッター刃を押さえつける圧力を設定します。
- カット速度: カット時の速度(品質)を設定します。(遅くするとカット品質が上がります。)
- 刃出し量: オートブレードの刃出し量を設定します。

【重要】マニュアルブレードを使用する場合は「刃出し量」を必ず「0」に設定して下さい。

刃出し量 0 にすると、オートブレードの刃出し量制御が OFF になり、マニュアルブレードが使用可能になります。(マニュアルブレード使用時は刃出し量を 0 以外の設定にしないで下さい。)

設定が完了したら「OK」をクリックして一つ前の画面に戻り、戻った画面も「OK」をクリックして「カット(連続カット)」ダイアログまで戻って下さい。

シート(用紙)のセットが正しく出来ている事を確認し、「カット(連続カット)」ダイアログ画面の「OK」をクリックしてカットを実行して下さい。

A-3 ■ ローランド DG 社製 ステカシリーズ及び CAMM-1 シリーズの場合

【重要】 ステカシリーズをご使用の場合は、下記設定を行う前にあらかじめドライバソフトウェアをインストールの上、セットアップを完了しておいて下さい。

ステカシリーズは出荷時期によって付属 CD-ROM 収録の各種ソフトウェアの対応 OS が異なる為、付属 CD でのセットアップが完了出来ない場合がございます。(特に SV-8/12/15 を 2017 年以前にご購入の場合)

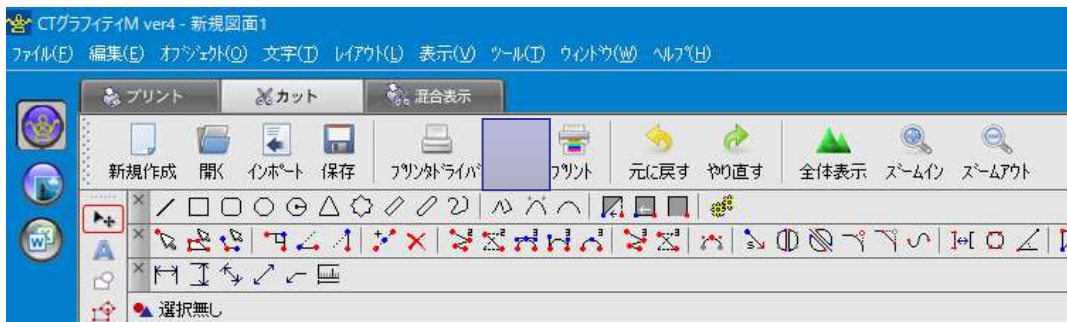
本ソフトウェアで使用する場合は、必ず、公式 Web サイトより最新版のソフトウェアを入手の上、セットアップを行って下さい。

(ローランド DG 社公式 Web サイト URL: <https://www.rolanddg.co.jp/>)

【重要】 古いステカシリーズ(STX-7/8、SX-8/12/15)及び、古い CAMM-1 シリーズ(CX 以前、PNC 含む)は平行ポート>USB 変換接続の為、お使いの PC によっては本ソフトウェアで動作させる事が出来ません。

※対応 OS が WindowsXP または WindowsVista までとなる為、Windows7 以降は完全非対応となります。

1. カットモードで「カットボタン」をクリックします。



2. 下記ダイアログボックスが表示されます。出力機器を「ローランド RD-GL(mode2)」に設定し、右横の「設定」ボタンをクリックして下さい。



3. 下記ダイアログボックスが表示されます。ステカシリーズ及び CAMM-1 シリーズの場合はステップ数が「40」に固定されています。画面右横の「ポート設定」をクリックして下さい。

他の設定値は、通常は初期値のままです。

4. 下記ダイアログボックスが表示されます。ステカ及び CAMM-1 の場合は、「仮想デバイスを使用する」にチェックを入れ、右下の「設定」をクリックして下さい。

5. 下記ダイアログボックスが表示されます。デバイスリストからご使用のCutting Machineを選択した上で、「OK」をクリックし、一つ前の画面に戻りますので、それぞれ「OK」をクリックして設定を完了して下さい。

※上記の画面はシルエットカメオを設定する場合のものですが、リスト内の表示が異なるだけでほぼ同じです。

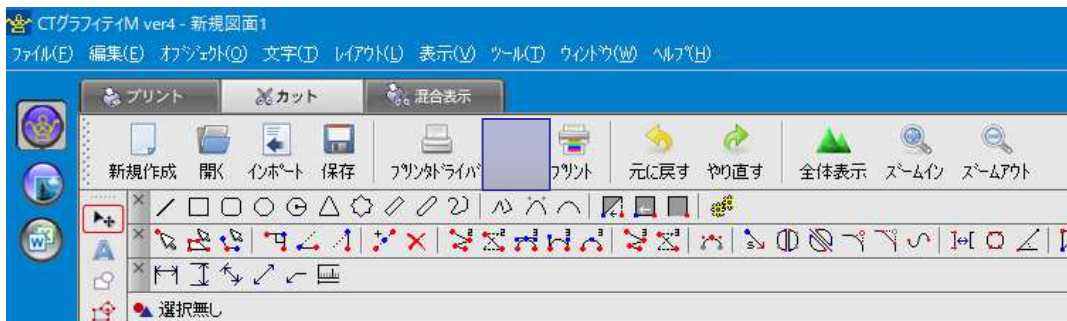
A-4■ミマキエンジニアリング社製プロッタの場合

(CG シリーズのうち、CG-FX シリーズ初代及びそれ以前の CG シリーズが対応)

【重要】

制御方法の都合上、2022年3月現在、現行モデル及び一部旧モデルのCGシリーズ(CG-FX II、CG-FX II PLUS、CG-SR、CG-AR)では動作しませんのでご注意ください。

1. 予め、CGシリーズのプロッタをUSBで接続した上で、電源をONにしておき、カットモードで「カットボタン」をクリックします。



2. 下記ダイアログボックスが表示されます。

CGシリーズ(FX以前)の場合は、「Mimaki CGシリーズ(MGL-IIc)」に、CG-FXの場合は「Mimaki CG-FXシリーズ(MGL-IIc)」に設定して右横の「設定」をクリックします。



※上記出力機器プルダウンメニューは正しく設定して下さい。

CGシリーズとCG-FXシリーズで制御方法が異なる為、間違っているとエラーとなり、カットがスタート出来ませんのでご注意ください。

3. 下記ダイアログボックスが表示されます。ステップ数の設定は、プロッタ本体に設定されているステップサイズに応じて変更する必要があります。「**本体ステップサイズ×CTグラフィティのステップ数=1**」となる様に設定して下さい。
 ※例: 本体ステップサイズ 0.5mm/step の場合は CT グラフィティ側 20 に設定 (0.5×20=1)
 ステップ数の設定の後、「ポート設定」をクリックして下さい。



4. 下記ダイアログボックスが表示されます。「Mimaki USB (双方向通信)を使用する」にチェックを入れ、右下の「設定」をクリックして下さい。



5. 下記ダイアログボックスが表示されます。CGシリーズのプロッタがUSBで接続されている場合、ポートに表示されている文字列(環境によって異なります)を選択した上で「OK」をクリックし、一つ前の画面に戻りますので、それぞれ「OK」をクリックして設定を完了して下さい。

